



尾上 将弥ちゃん

中河内、尾上重穂・香織さんの2男=1歳



川久保未唯ちゃん

柏ヶ谷、川久保侯貴・亜希代さんの長女=1歳1カ月



柏木 絢香ちゃん

河原口、柏木貞幸・ありささんの長女=1歳1カ月



小林 隼介ちゃん

上郷、小林直人・玲奈さんの長男=1歳



三浦 美緒ちゃん

上今泉、三浦邦彦・久美子さんの長女=1歳1カ月



望月 颯ちゃん

門沢橋、望月章・みゆきさんの長男=1歳



山川 遼ちゃん

国分寺台、山川隆信・宜子さんの長男=1歳1カ月



石塚 彩香ちゃん

河原口、石塚広明・晴美さんの長女=1歳1カ月

まんまる赤ちゃん

このコーナーに掲載を希望する方は…電話で広報広聴課(内271)へ。ただし、申し込み時点で1歳未満の赤ちゃんに限り、お早めにご連絡ください。なお、申込数が多い掲載できない場合もあります。



▲土器づくりで縄文時代を学ぶ

8月23日、中新田コミセンで市内在住の小学生とその保護者たちが「夏休み歴史教室」に参加し、縄文人の生活を学ぶとともに実物の3分の1ほどの小さな縄文土器を作りました。

▼長寿のお年寄りを訪問

8月28日、市長が市内に住む高齢者の自宅などを訪問し、敬老の日を前に長寿のお祝いをしました(写真右・井上静枝さん=103歳、左・佐々木静さん=102歳)。



フォトピクレス



▲市内施設を見学

8月22日、市内施設見学が行われ、消防署(写真)や温故館など4カ所を見学しました。参加者からは「実際に見学して業務の現状を知ることができた」という声も聞かれました。



(▷場所) 大谷近隣公園 ▷撮影日 8月17日 (大谷在住・大橋留美子さん撮影)

みなさんからの作品

海老名の風景⑨

8月17日、高座施設組合温水プールの利用者100万人目の来場者(青木正さん)に大谷在住に、亀井組合長が記念品を贈呈しました(写真左は代理出席のお子さん、右は芳樹さんと妻の雅子さん)。

▶プール利用者100万人に



数字で見る海老名 ⑫

12

第1号館は柏ヶ谷に誕生

コミセンや文化センターは学習、レクリエーション、サークル活動の拠点として使われるほか、健康増進のための軽スポーツなどもできるようなっています。昨年度は全館合計で約45万人が利用しましたが、最も多くの割合を占めているのがサークル活動などで利用されている集会所で、20%を超えています。また、市民生涯学習講座を行ったり、今年2月にも総合計画市民集会所の会場として使用し、市と市民の活発な意見交換が行われました。

今回ご紹介する数字は、市内各所に位置しているコミセン・文化センターの数です。コミセンは、市民生活に密着した施設となるよう、海老名市総合計画で市を10地区に細分化し、その地区ごとに1館ずつ、その他補完施設として文化センター2館を設置しました。市内で最初に誕生したコミセンは柏ヶ谷地区で、昭和61年12月17日、東柏ヶ谷一丁目目を開館しました。以降、大谷コミセン(昭和63年)、中新田コミセン(平成元年)、勝瀬文化センター・上今泉コミセン(平成3年)、国分コミセン(平成5年)、杉久保コミセン(平成6年)、門沢橋・本郷コミセン(平成7年)、杜家コミセン(平成8年)、下今泉コミセン(平成9年)と開館し、平成10年4月1日に国分寺文化センターの開館で市内12館のコミセン・文化センターがそろいました。

市民の身近な活動拠点

編集後記

1面の高齢者2組の方々に取材をしたときのこと。絵・卓球と、それぞれ分野が違っても、熱中していることについて話していると



中新田コミセンで行われた生涯学習講座

で出会う人たちや行事などがみなさんの活動の幅を広げてくれることでしょうか。ぜひお出かけになってみてはいかがでしょうか。

編集後記

きの目の輝きは、すごいエネルギーを感じました。そのエネルギーを、夏(秋?)がバテ気味の私の体を利用して頑張るぞ!